

「聴く」と「話す」の切替

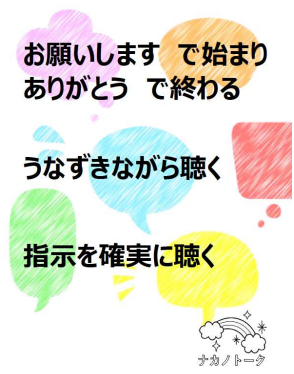
礼儀正しい挨拶

準備をしてチャイム前に着席

～ふるさとに愛着と誇りを持ち、将来を夢見て未来を切り開く中能登っ子を育てる～

《理念》児童生徒が主役となる教育

重点推進施策



- ★GIGAスクール構想の推進（県指定 中能登中・鹿島小）、AIの活用
- ★コミュニティ・スクールの推進（モデル校 中能登中・鹿西小）
- ★ふるさと教育の推進（ふるさと検定、防災教育、体験学習）

- ★道徳教育の推進（県指定 鳥屋小）
- ★幼保小中高連携事業の推進（幼保小の架け橋プログラム）
- ★不登校支援の推進（首長部局との連携、CS、教育支援センター）

指針1 確かな学力

【教師は子どもの主体的な学びを支援する伴走者】

- ① 小中学びの土台づくり→中能登ルーティン・中能登スタンダード・ナカノトーク
- ② 個別最適の学びと協働的な学びの一体化→主体的・対話的で深い学びの実現
- ③ 授業の発話量→児童生徒7：教師3
- ④ 読解力の指導力向上→新聞活用による読解力の育成
- ⑤ 算数・数学用語の定着に基づく指導力向上
- ⑥ 英語教育の推進→小学校5・6年生の英検 Jr. 受験、中学生で英検3級程度以上の割合6割
- ⑦ 総合学力調査 同一児童生徒の経年学力調査→小1～中2（指導の検証）

指針2 豊かな心

- ① 読書活動の推進
- ② インクルーシブの視点に立った特別支援教育：特性に応じた特別支援学級運営

指針3 健やかな体

スポーツ教室への加入促進、スポチャレいしかわへの積極的参加

指針4 今日的教育課題への対応

- ① 働き方改革の推進：CoDMONの活用（配布物、欠席遅刻連絡のデジタル化）
- ② 部活動の地域移行：生涯を通じたスポーツ・文化への取組

各校の教育目標と重点的な取組

鳥屋小学校

自ら考え、互いに認め合い、高め合う児童の育成  
○主体的に考え、学び合う授業づくり  
○自信と向上心をもって  
関わり合う児童の育成  
○健康でたくましく、高め合う児童の育成

鹿島小学校

未来を切り拓くための資質・能力の育成  
～子どもを主語にする教育の実現～  
タブレット端末と対話を生かし「個別最適な学び」と「協働的な学び」の視点を踏まえながら子ども達が「分かる授業」を目指す。

鹿西小学校

ふるさと鹿西に愛着と誇りを持ち、未来を切り拓く資質・能力の育成  
～笑顔とやる気にあふれ、みんなが輝く鹿西小学校～  
○学びに向かう姿・授業スタイルの確立  
○児童が活躍する場の設定  
○地域の教育資源の活用

中能登中学校

未来社会を切り拓くための資質・能力の育成  
1. GIGAスクール構想の具現  
2. 主体的、協働的活動の推進  
3. 組織的、計画的な業務遂行